

畜産情報ノート

第6号

令和6年9月11日

島根県畜産技術センター

〒693-0031 島根県出雲市古志町 3775

URL=https://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/gij

今号の内容

トピックス

- 糸桜系スーパー種雄牛「暁之藤」号の育種価が判明しました！
- 令和6年度（後期）新規交配種雄牛

技術情報

- 県産粗飼料の簡易な水分測定法について

お知らせ

- 種雄牛造成部門（しまね和牛改良科）の出雲市への移転が完了しました

トピックス

糸桜系スーパー種雄牛「暁之藤」号の育種価が判明しました！ ～総合評価1位、脂肪交雑1位、バラ厚1位～



令和6年5月に、「暁之藤」号の育種価が判明しました。総合評価および脂肪交雑で1位、推定歩留で2位、枝肉重量およびロース芯面積で3位と非常に高い能力であり、7月に県基幹種雄牛に選抜されました。

本牛は（一社）家畜改良事業団との協力種雄牛であり、8月に同事業団の供用種雄牛にも選抜されました。

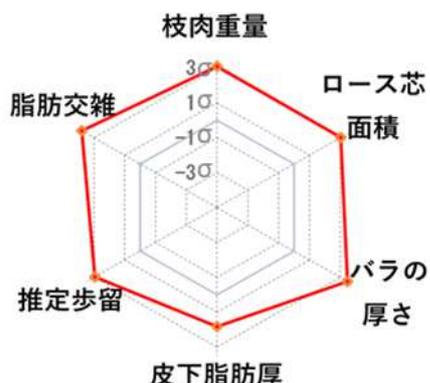
暁之藤号の育種価(令和6年5月評価)

枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚	皮下脂肪厚	推定歩留	脂肪交雑	MUFA	総合評価
126.256 (3位)	31.662 (3位)	2.095 (1位)	-1.058	4.980 (2位)	4.204 (1位)	-2.088	13.717 (1位)

※順位は、島根県で評価した全国の種雄牛393頭中の順位

総合評価は、枝肉重量:脂肪交雑:ロース芯を1:2:1の重み付けでの評価値

育種価レーダーチャート



2月の枝肉成績判明後、すでに、県内へ多くの精液を供給していますが、今後もさらに活用していただきたいと期待しています。

交配は、県内保留が進む「久茂福」などの兵庫系や「百合久勝」などの気高系の繁殖牛が推奨されます。ただし、大型の産子が出生するため、初産牛や小柄な雌牛への交配は避けてください。

令和6年度（後期）新規交配種雄牛 ~ご協力をよろしく申し上げます~

令和6年度第2回島根県改良推進委員会において、今年度後期の新規交配種雄牛2頭が決定しました。しまね和牛の将来を担う種雄牛造成のために、皆様のご協力をよろしく申し上げます。

10月交配 隆美津久号

生年月日 令和5年8月24日
産地 益田市 (株)田原牧場
血統 北美津久-隆之国-華春福
登録番号 黒16079(84.2)



「隆美津久（たかみつひさ）」は高能力雌牛「はなみつ1」号に、「北美津久」（ジェネティクス北海道）を交配して造成した兵庫系種雄牛です。

母「はなみつ1」号は、バラの厚さ、推定歩留、脂肪交雑が高く評価されている高能力雌牛です。父は、枝肉重量、ロース芯面積、皮下脂肪厚の能力が高い「北美津久」を交配しました。

本牛のゲノム育種価は、枝肉重量、バラの厚さが特に高く評価されています。体型面では、体伸、体深、毛質、皮膚のゆとり、尻幅、乳徴に優れています。

交配は、糸桜系の「福之姫」、気高系の「百合久勝」、「幸紀雄」、「百合茂」などの繁殖雌牛をおすすめします。

11月交配 煌乃鶴号

生年月日 令和5年8月16日
産地 出雲市 畜産技術センター
血統 福之鶴-光平照-安福久
登録番号 黒原6642(83.5)



「煌乃鶴（こうのつる）」は高能力雌牛「きらり」号に、「福之鶴」（家畜改良事業団）を交配して造成した糸桜系種雄牛です。

母「きらり」号は、全兄妹牛が平成27年度全国肉用牛枝肉共励会で名誉賞を受賞した実績をもつ高能力ファミリー牛です。父は、ロース芯面積、推定歩留、脂肪交雑の改良が期待できる「福之鶴」を交配しました。

本牛のゲノム育種価はロース芯面積、推定歩留、脂肪交雑が特に高く評価されています。また、体型面では、体伸、体上線、均称に優れています。

交配は、気高系の「百合久勝」、「幸紀雄」、「百合茂」などの繁殖雌牛をおすすめします。

県産粗飼料の簡易な水分測定法について (畜産技術普及課)

県では令和6年度から、輸入粗飼料依存型の畜産経営からの脱却を図り、県産粗飼料の利用を更に拡大・定着させるため、畜産農家が良質でコストに見合った粗飼料を安定的に確保できるよう、「県産水田粗飼料利用拡大推進事業」が開始されました。畜産農家が飼料生産を行う耕種農家等と連携して良質な粗飼料生産を図る取組について補助されます。また、「経営所得安定対策等実施要綱」が一部改正され、WCS用稲や飼料作物について、島根県農業再生協議会が基準単収を定め(下表)、それと比べ収量が明らかに低い場合は交付対象外とする規定が追加されました。

	水分率	基準単収 (10aあたり)
WCS用稲	68%	2,000kg
飼料作物	68%	3,000kg

※1 水分率を把握している場合は、基準水分率に合わせて基準単収と比較
 計算式：実際の単収 × (100-実際の水分率) ÷ 32 = 基準水分率に合わせた単収
 計算例：40%で1,200kg/10aの場合 1,200 × (100-40) ÷ 32 = 2,250kg/10a

※2 水分率の把握が困難な場合
 予乾なし：水分率を68%と仮定して基準単収と比較
 予乾あり：水分率を44%と仮定して、※1の計算式で計算し基準単収と比較

<お問合せ先> 島根県農業再生協議会事務局 (TEL0852-22-5109)

このような状況で、県産粗飼料の品質を簡易に測定する方法について相談が多く寄せられています。そこで今回は、農家で迅速に実施可能な水分の簡易測定法について下記のとおりご紹介いたします。

家庭用電子レンジを利用した簡易な水分測定法

- ①草(サンプル)を長さ5cm程度にハサミで切断する。
- ②サンプルに偏りがないよう混合した後、耐熱平皿にひろげて、キッチンスケールで50g秤量する。
- ③電子レンジ(500W)で2分間加熱し、取り出してサンプルを反転させ、再度加熱する。
 △皿からサンプルをこぼさないようにする。皿が高温のため軍手を着用する。
 △加熱したサンプルに火がつく場合があるので、作業中は電子レンジの前から離れないこと。
- ④③の作業を3~4回繰り返した後、秤量してさらに2分間加熱する。
 △加熱時間は、水分含量やサンプル量、電子レンジの機種等によって異なる。
- ⑤重量が減少しなくなったら乾燥作業は終了、減量した重量比で水分を算出する。
 計算式：水分率% = (乾燥前の重量 - 乾燥後の重量) ÷ 乾燥前の重量 × 100



出典：遠藤ら(2000) 東北農業研究 53 p131-132、山口県「飼料用イネ生産利用マニュアル」p14

お知らせ

種雄牛造成部門（しまね和牛改良科）の移転が完了し、 出雲市での業務をスタートしました！

県では、「しまね和牛」改良のさらなる強化を図るために、種雄牛造成部門（しまね和牛改良科、雲南市木次町）の本場（出雲市古志町）への移転作業を進めてきました。令和6年6月に新施設が完成し、9月2日から出雲市での業務を開始しました。

新施設には、牛舎（種雄牛24房、直接検定牛10房）、採精処理棟（採精スペース、精液保管室、事務室等）、飼料庫、つなぎ場および運動場が整備されました。

精液製造に関しては、新たに「精子運動解析装置」を導入し、これまで目視で行ってきた精子の運動性や形態を、機械により客観的に評価する設備を整えました。これにより、高品質な凍結精液を安定的に県内生産者に供給できる体制を強化します。

また、令和5年度に枝肉撮影用の専用カメラを導入し、県食肉公社に出荷された枝肉断面の画像解析を開始しました。新たな枝肉の価値観として「美味しさ」の改良を進めるため、この技術を活用して「小ザシ」などの新たな形質の能力評価に取り組んでいきます。

なお、令和6年11月18日（月）には、種雄牛展示会の開催を計画しています。当日は、技術セミナーも併せて開催する予定ですので、ぜひお越しください。



- ①牛舎
- ②採精処理棟
- ③飼料庫
- ④つなぎ場
- ⑤運動場

編集後記

今年の夏も近年の気象変動の影響か、全国的に記録的な高温が続き、暑熱対策を講じつつも家畜の健康に苦慮しながら研究を行う日々が続いています。このような中、種雄牛造成部門の移転に伴い、種雄牛も新施設に移動しましたが、皆、落ち着いた状態でホッとしたところです。高い能力が判明した「暁之藤」号に続き、これらの種雄牛たちが今後活躍をしてくれることを期待しています。(F)

発行 島根県畜産技術センター 〒693-0031 島根県出雲市古志町 3775

電話：0853-21-2631 FAX：0853-21-2632 Eメール：chikugi@pref.shimane.lg.jp